

経営体育成基盤整備事業 (土地改良総合整備) 麻生東部地区



令和4年4月

茨城県鹿行農林事務所土地改良部門



地区の概要

麻生東部地区は、北浦湖岸に面する平坦地と台地に入り込んだ谷津からなる水田地帯です。

本地区は昭和54年から平成10年に、ほ場整備事業「麻生東部地区」により基盤整備を実施しています。しかし用水施設設置(昭和54年～昭和61年)後約30年が経過し、用水機場(ポンプ設備)及び送水管(パイプライン)の老朽化が進み、漏水などに起因する用水不足による作物の品質低下が起きている状況です。また、本地区の暗渠排水は一部整備済みではありますが、更なる水田の高度利用を図るため、暗渠排水未整備部分の施工を行う必要があります。

このため、本事業により農業用水及び暗渠排水等の整備を行うとともに、担い手への農地集積・集約化を進めます。

事業の内容

事業主体 茨城県

関係機関 行方市・
麻生東部土地改良区

受益面積 302.5ha

工期 平成22年度～令和8年度

総事業費 21億2530万円

進捗率 72.3%(令和3年度末現在)

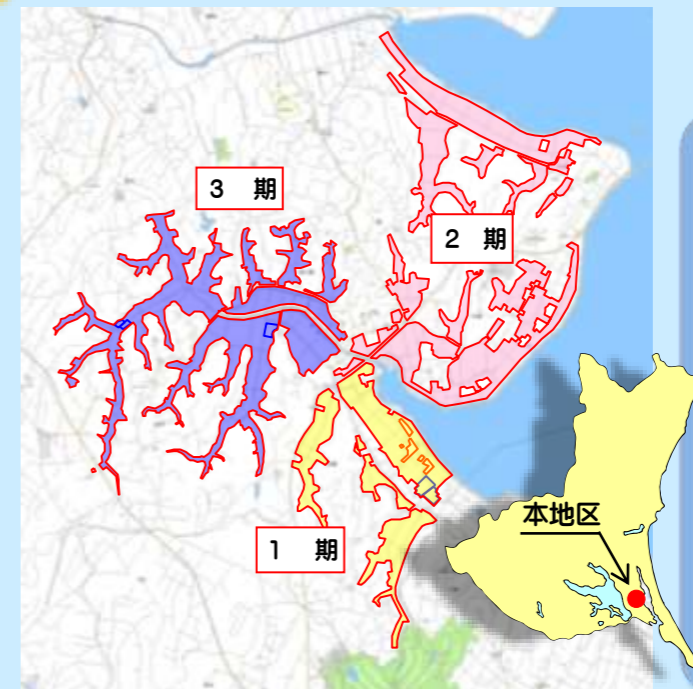
主要工事 用水路工：パイプライン工 302.5ha
機場補修工 13箇所
暗渠排水工：3.6ha

負担割合

単位:%

	国	県	行方市	地元
事業費	55.0	30.0	—	15.0

位置図 行方市石神地内



問い合わせ先



茨城県鹿行農林事務所
土地改良部門 工務課

〒311-1593
茨城県鉾田市鉾田1367-3
(茨城県鉾田合同庁舎内)

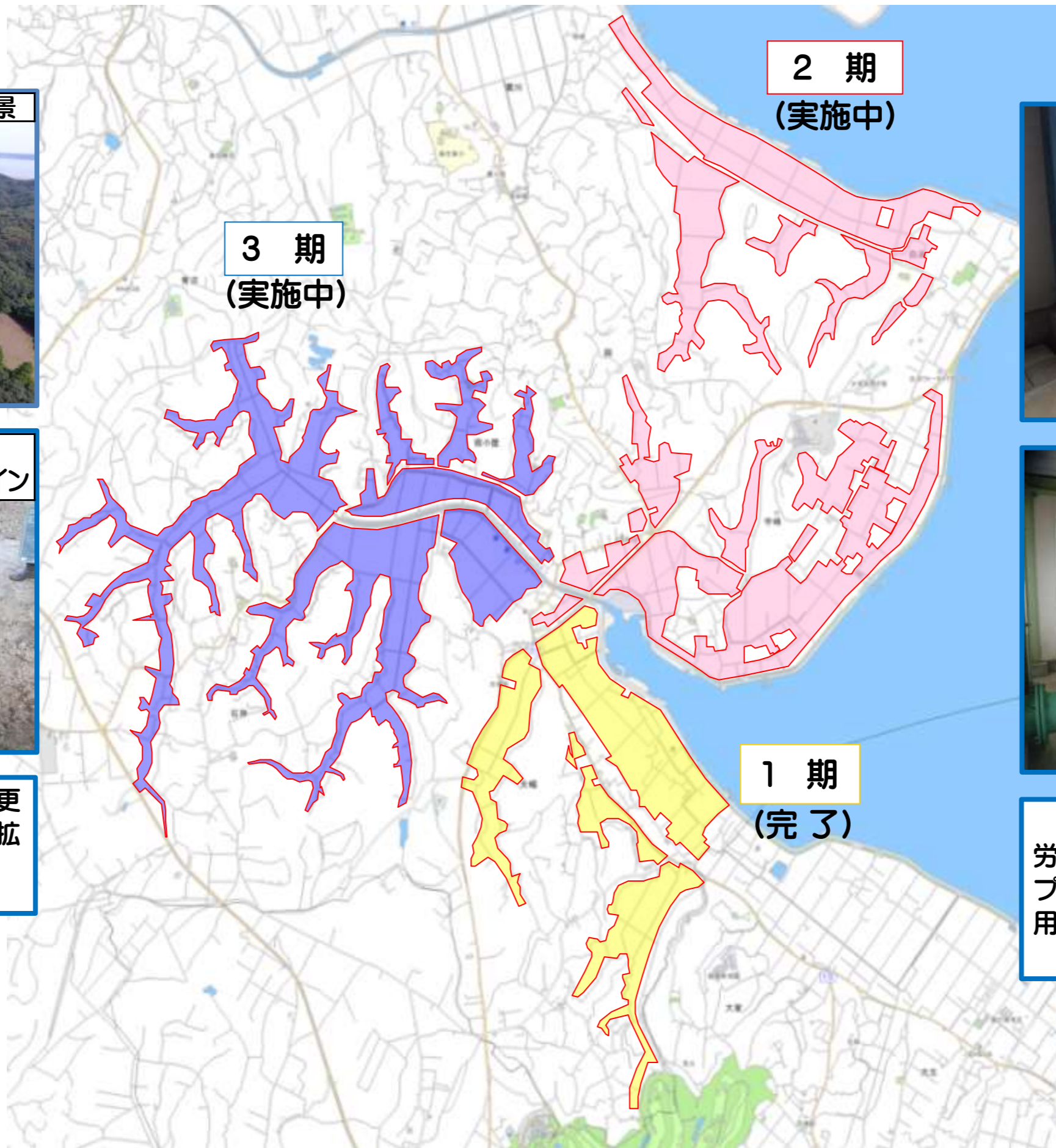
電話 0291 (33) 4122
FAX 0291 (33) 5956



経営体育成基盤整備事業（土地改良総合整備） 麻生東部地区



老朽化した用水路(パイプライン)の更新工事を行い、担い手農家の規模拡大に必要な生産基盤を整備。



故障が頻発して維持管理に多大な労力を費やしている用水機場のポンプ設備の更新工事を行い、安定的な用水の供給を実現。